

# みんなの県政

1972/8  
NO.44 富山





立山の花

キヌガサソウ



### 8月の園芸

太陽の光を浴び、全ての生物がおおらかにのびのび息づく夏。その8月にはカンナ、ケイトウ、ヒマワリ、リンドウなどが有名です。

中でもキク科のヒマワリは夏の花の代表。中央アメリカ原産で、そこでは太陽神のシンボルとさえ言われています。この花は移植を嫌うので4月にじかまきをするか鉢にまけばよいのですが、風の強い所では支柱をする事。気温の高い夏に最適の花と言えます。

# みんなの県政 1972・8 もくじ

|                  |    |
|------------------|----|
| ■特集 農業基盤整備       | 1  |
| 埋蔵文化財            | 6  |
| われらで創ろう日本の農業     | 9  |
| ◀カラーグラビア▶ふるさとのみち | 10 |
| 水の総合利用と開発        | 12 |
| ●越中の伝説           | 19 |

表紙せつめい  
高岡の  
たなばた



高岡市でいつのころからか初めての男子を出産した家庭で高さ6~7メートルもある大笹に行燈、提灯などを取りつけたりして豪勢に飾り、人夫数10人でこれを担いで千保川に流す風習があった。

近年、七夕の川流しは禁止されたが、旧盆の8月7日商業都市の活気を誇示するようにオタヤ通りをはじめ各商店街の通りは七夕の豪華さを競いあう。

## 特集：農業基盤整備

# 富山県の 土地改良事業

## 新田用水頭首工（八尾町）

ブルドーザーの音も力強く、県内各地で水田のほ場整備が進められています。国においては、「総合農政」ということで、高能率農業の展開、農業生産の再編成、農業構造の近代化および農村生活環境の整備などを農政の目標として掲げています。農業は、土地と水を基盤としてなってきたので、その基盤を整備することは、あらゆる施策をすすめていくうえで大切な基本的事項となります。一方農業をとりまく諸情勢は、極めてきびしく、困難な問題もたくさんありますが、これに対処するためにはその生産性を上げることが必要です。その場合、やはり土地改良事業によって基盤を整備することが基本となると考えられます。

本県においては、「ほ場整備事業」を最重点として「かんがい排水事業」「農道整備事業」その他これに関連する事業を、鋭意進めています。

### ① ほ場整備事業

大型ほ場（標準区画三〇アール以上）を造成し、大型農業機械を導入して、農業経営の合理化および近代化を図ることを目的としています。

この事業は、明治年代から小区画（標準一〇アール）ながら進めてきましたが、本県においては、地形（浅耕土と急勾配）、地勢（散居村）、これに関連する経済性（工事費増）などの悪条件と、さらには県民性も加わって見るべきものは少なく、新潟、石川両隣県の整然とした水田とは、全く対照的でした。昭和三十六年に農業基本法が制定され、

「曲り角」にきた農業の将来の方向が打ち出され、第一次構造改善事業とあいまって、ほ場整備事業が全体的な強い要望となり、全国最低位にあったものを、一挙に大型ほ場にして「追いつけ、追い越せ」を合言葉に進めてきました。そして、ここ数年間、全国のほ場整備予算の割にも当る財源を投入して、今日では、大型ほ場整備の進捗は、全国の上位を占めるまでに達しました。その結果、本県の農耕は近年、「トラクター」、「田植機」、「防除機」、「バインダー」、「コンバイン」などの大型農業機械が、かつての「人力」、「畜力」、「小型耕運機」にとって変わっています。

今後の基本計画は、富山県第四次県勢計画に示していますが、その後の実績や土地利用計画の修正を加味してみますと、第一表のとおりです。また、最近一〇カ年間の実績は第二表のとおりです。

再整理（小区画を大区画に整理する）を進めるには、多少の問題があることと日時を要すると思われませんが、昭和五十五年度までには、「面的」な整備の完了を目標としています。

なお、この事業の仕組は、大部分を国の公共事業で進め、地区の規模により「県営」、「団体営」で施行します。その外に「構造改善関連」、「高速道路関連」、農林漁業融資制度による「融資事業」、山村振興法に基づく事業、さらには、へき地対策として県単独予算で小規模団地を対象とする「へき地事業」などがあります。県では、「ほ場整備課」が主管しています。

### ② かんがい排水事業

用水不足や、排水不良地帯の解消と施設の維持管理の合理化を目的として、灌漑用水路排水路、取水施設などの新設改良を実施しています。

この事業は、ほ場整備事業の基幹工事でもあり、ほ場整備事業にさきがけて実施される場合が多く、ほ場整備事業の「面」の事業に対し、「線」あるいは「点」の事業といえます。

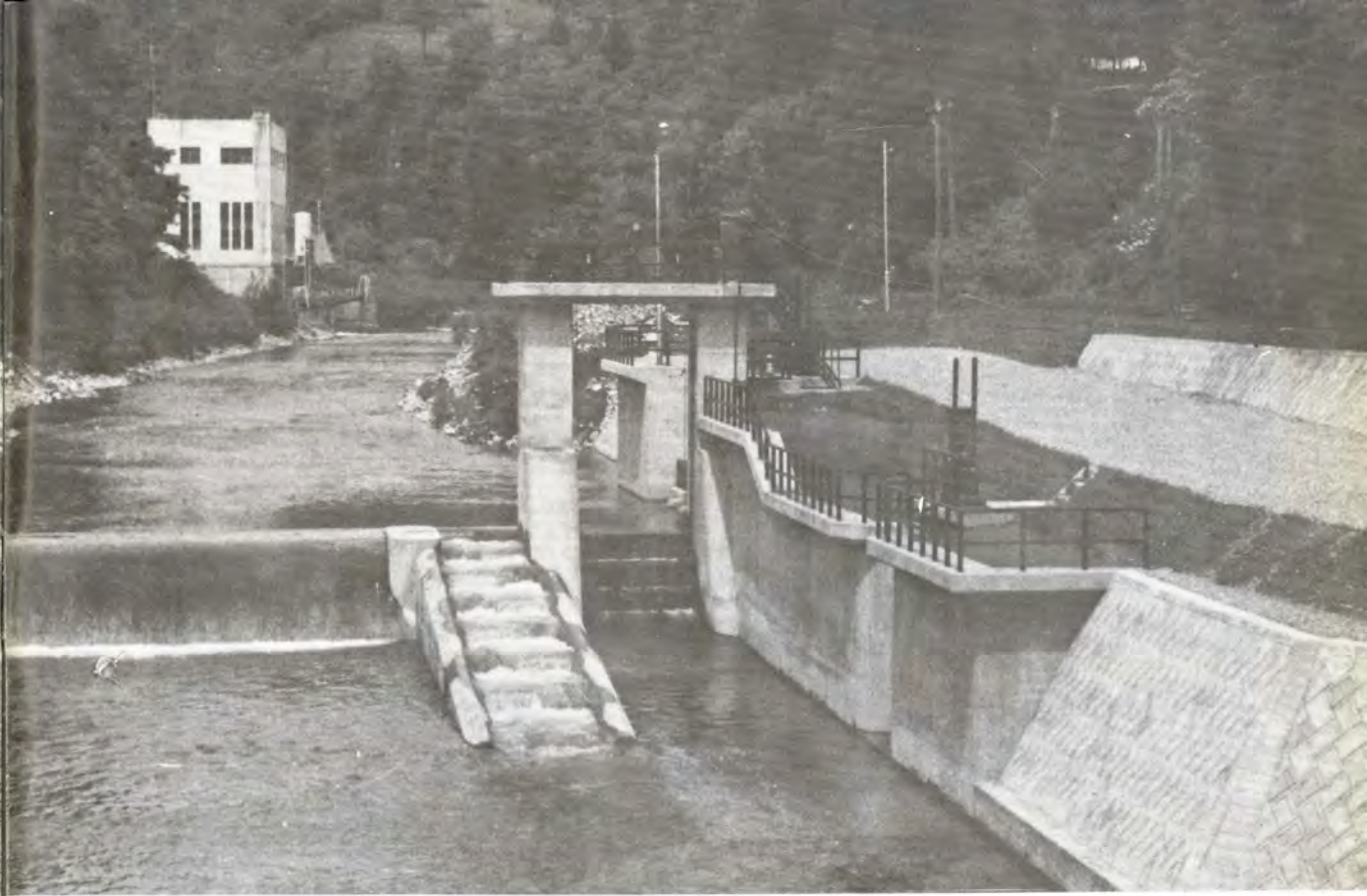
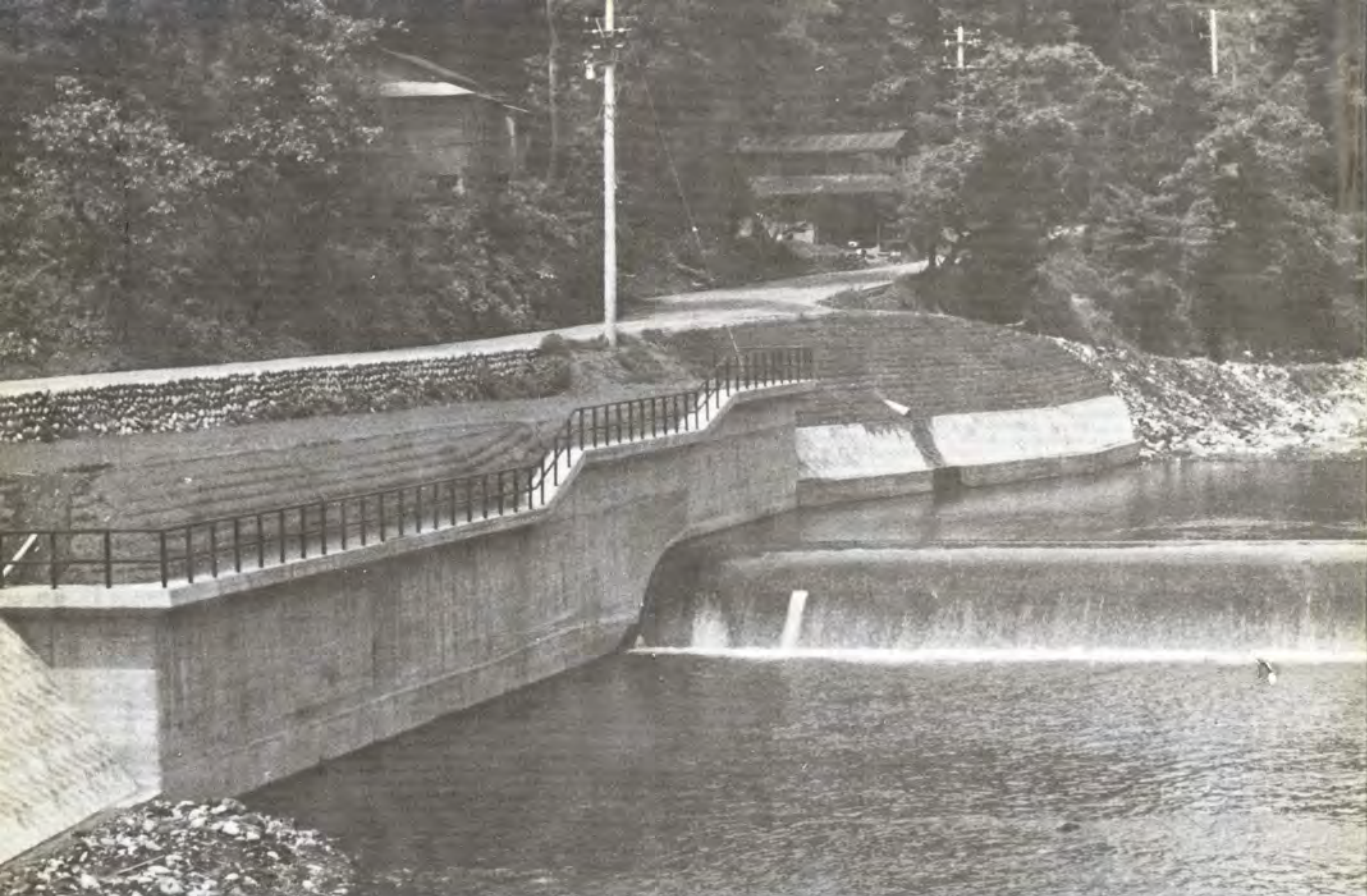
農業用水は、農村区域、都市区域内を縦横に貫流するので、水田用水のみならず、その地域の防火、生活雑用水などに欠くべからざる役割をもっています。反面、これが幼児の水難事故の原因ともなっているため、県としては、とくに「農業用水保安新設事業」を実施して、地元や市町村と一体となって、その防止に努めています。

この種の事業は、大正の末期から本格的に取り上げられてきました。富山市を流れる「広田用水」の改良は全国でも県営事業第一号であり、「庄川合口用水」、「黒部川合口用水」は、用水の統合合口のみならず、発電併用といった富山県の地形の利を活用した当時（昭和初期）としては画期的な事業でした。ま

た世界的にも賞讃された黒部川流域の冷水温解消事業としての流水客土など輝かしい歴史をもっています。

今後の方向としては、用排水路の新設、改良並びに更新のみならず、農業の広域化、生産組織化が進むにつれて、水の合理的利用、管理の「システム化」が必要となり、自動制御方式が採用され、末端ではパイプによるかんがいに移行するための事業が行なわれることになるでしょう。これらによって生ずる水は、農村の生活環境整備に役立つとともに、最近の経済の発展と国民生活の高度化に伴う「上水道」、「工業用水」などの需要増を充足することに使用されます。また、これらによって農工一体化の促進が図られ、農家所得の増大はもちろんで、地域経済の発展に大きく寄与することになります。

そして、これらの事業は「農業用水合理化事業」あるいは「装置化事業」といわれ、今後大いに進めて行かねばならないものです。以上のかんがい排水事業は、公共事業として進めています。規模の大小、技術の難易により「国営」、「県営」、「団体営」と分かれ県では「耕地課」が主管しています。



### ③ 農道整備事業

高農率農業の展開をはかり、農業生産物の安定的供給に必要な流通機構の改善に、重要な役割をもつのが農道整備事業です。とくに「広域営農団地農道整備事業」は、画期的な構想のもとにスタートした農道の根幹をなすものです。

この外に農業用揮発油税身替財源で実施する「農免道路事業」、「一般農道整備事業」などがあります。また農業生産物の運搬だけでなく、生産物の荷いたみの防止のために、「農道舗装事業」も実施しています。これらの事業は、前述の目的のみならず農村の生活環境整備に大きな役割をもっています。

農道事業の歴史は、古くは新しいともいえます。明治末期に制定された「耕地整理法」は、わが国における耕地の改良拡張を図る最初の近代的法制として、重要な意義と役割をもち、その基盤主義義区画整理には必ず農道がひかれています。この耕地整理が土地改良におき変えられたものの、それは耕地に直結する小規模事業に限られていました。しかし区画整理を伴わなくても単独に農道整備事業が施行される仕組は、大きな進歩とされています。ここまですが農道整備事業の「耕作道」なのです。この「耕作道」の改良新設は、大部分は場整備事業で完備されていきます。これからの農道整備事業は「農村道路」的性格を有したものでなければなりません。この代表的な事業こそ昭和四十五年度から制度化された「広域営農団地農道整備事業」および昭和四十七年度に制度化された「基幹農道舗装事業」です。



この事業の仕組は、もちろん国の公共事業ですが、「広域営農団地農道整備事業」、「基幹農道舗装事業」は「県営」で、その他は「団体営」で実施します。県では、「耕地課」が主管しています。現在施行中の「広域営農団地農道整備事業」の概要は第三表のとおりです。さて、土地改良事業は「土地改良法」に基づいて施行されます。公共事業においても、受益者の申請事業であることが最大の特徴です。

その受益者で構成されるのが「土地改良区」です。現在本県には、三百余の土地改良区がありますが、農業の広域化が進むにつれ、それにふさわしい土地改良区の大規模化が要求されています。県としても合併促進のため補助金を算出しています。そして新しい農業に合致した農民のための土地改良区をつくり、新しい土地改良事業を、農民の皆さんと一体となり推進していくことが念願です。

(第二表) ほ場整備事業の実績 (最近10カ年間)

| 年次      | 37  | 38    | 39    | 40    | 41    | 42    | 43    | 44    | 45    | 46    | 計      |
|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 面積 (ha) | 768 | 1,185 | 1,679 | 1,715 | 1,416 | 1,902 | 2,604 | 3,225 | 4,205 | 5,447 | 24,146 |

(第三表) 広域営農団地農道整備事業の概要

| 地区名  | 着工       | 受益市町村                     | 事業量         | 事業費             | 受益面積         | 備考                   |
|------|----------|---------------------------|-------------|-----------------|--------------|----------------------|
| 富山中部 | 45年度     | 富山市・滑川市<br>上市町・立山町<br>婦中町 | 41.6km      | 千円<br>4,860,000 | ha<br>13,838 | 農林 22.5km<br>建設 19.1 |
| 南 砺  | 46       | 福光町・城端町<br>福野町・井口村        | 26.8        | 1,000,000       | 6,706        | 農林 13.6<br>建設 13.2   |
| 新 川  | 47       | 魚津市・黒部市<br>宇奈月町・入善町・朝日町   | 31.1        | 3,200,000       | 7,746        | 農林 26.2<br>建設 4.9    |
| 氷 見  | 48<br>予定 | 氷見市                       | 昭和47年度に計画樹立 |                 |              |                      |

(第一表) ほ場整備事業の実態

| 区 分          | 面積 (ha) | 率 (%) |     |
|--------------|---------|-------|-----|
| 県内水田面積       | 79,500  | 100   |     |
| 整理不能面積       | 11,200  | 19    |     |
| 整理可能面積       | 68,300  | 81    | 100 |
| 完了(再整理含む)面積  | 42,200  |       | 62  |
| 昭和47年度以降整理面積 | 35,100  |       |     |
| (整理面積)       | 26,100  |       | 38  |
| (再整理面積)      | 9,000   |       |     |

# 埋蔵文化財

## 埋蔵文化財とは

埋蔵文化財——一般の人には何かとつきにくく、理解しがたい響きを持った言葉ですが、その意味は、土中もしくは水中など、通常は目に触れない状態で埋蔵されている有形文化財ということになります。

それは動産に属する「遺物」と不動産に属する「遺構」に大別され、それが埋没している地域全体は普通「遺跡」と呼ばれています。すなわち埋蔵文化財包蔵地イコール遺跡と言えるわけです。この遺跡という言葉は、私たちに何かフアンタジックななつかしい想いを与えてくれるやわらかな響きをもっています。

私たち人類の歴史はいまから約二百万年前に始まったと言われています。そのころ、人類・類人猿類、猿類の共通祖先から固有な進化をとげ、「石の道具」を作って使用する二足歩行を行なう動物が誕生しました。それが私たちの直接的な祖先である「オーストラロ・ピテクス類」と呼ばれる猿人で南アフリカからその代表的な遺跡及び遺体が発見されています。

され、遺構と遺物の関係その他を学術的に抽出することによって、かなり正確に当時の人々の生活を復元することができます。ともすれば珍らしいものを掘り出すのが考古学と考えられがちですが、目的はあくまでも歴史の復元にあるわけです。興味本位な、そして個人の利益追求のための発掘は、厳につつしまなければなりません。したがって調査は学識経験のある人によって行なわれる必要があります。

さて、このような性格をもった遺跡は、近年の大規模な各種開発事業により、刻々とその姿を地上から消しつつかあります。自然保護の問題とともに、その保護が強くさげばれ、全国的な社会問題となっています。

何千年、何万年も、土中深く埋もれ、保存されてきた遺跡が、悠久な時間の尺度から見れば「点」にすぎない今、大型工作機械により押しつぶされています。よりよい幸せをねがう私たちの未来像——その中に遺跡保存問題を含めるべきだと考えられます。なぜなら、

日本最古の遺跡は五、六万年前のものと考えられています。それよりも数十万年古い時代の遺跡も見られる可能性があります。

日本での人類の足跡は古い時代から先土器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安・鎌倉・南北朝・安土桃山・江戸時代と呼ばれ、現代へとつながっています。

現在私たちはその二百万年及び各民族、各時代の歴史に支えられていると言っても過言ではないといえましょう。その私たち人類の歴史は今のところ、大まかな部分しか知られていません。その歴史究明の糸口は各時代に営まれた多くの遺跡に秘められていると言えましょう。

県内ではそのような遺跡が、一、一七か所知られており、調査が進めば更にその数が増すものと考えられています。

## 遺跡の調査と

## 開発事業との調整

遺跡を発掘調査し、その歴史的な位置付けを行なう学問は「考古学」と呼ばれています。この場合埋蔵文化財は「考古資料」と総称

遺跡ほど今の私達の生活に密着しそして歴史的つながりを持っているものは他になく、更に未来の人たちに伝える義務が、今生きる私たちに課せられていると判断されるからです。

これについては、多くの人の理解と、開発事業との調整を積極的におし進めることがもつとも大切であると考えられます。

とかく、開発事業と遺跡保存は対立しがちなもの、あるいは遺跡は開発事業の進捗をじやまするものと考えられがちです。しかし、もっと広い視野に立ち、遺跡保存のための体制を整え、更に事前調整を十分に行なえば必ず双方の両立する道が開けるものと考えられます。

遺跡は一度破壊されると元へはもどりません。私たちの祖先がのこしてきた尊い遺産を今こそしっかりとみつめ、悔いを後世に残さないようにしたいものです。

県民各位の理解あるあたたかいご協力を切にお願いいたします。



# 若い力を世界にむけて われらで創ろう 日本の農業

第11回富山県農村青少年技術交換大会は、7月11日、12日の2日間、あすの富山県農業を担う青少年が集まって、大自然に包まれた大山町を舞台に、グリーンハイツの県立中央農業高校、森と湖の有峰青少年の家で1泊2日にわたって開催された。

この大会は、農村青少年のクラブ活動の中で、もっとも楽しい夏の行事で、県下各地から集まった農村青少年が、日頃のプロジェクト活動や研修などで体得した知識、技術の相互交流と実践成果を集約した演説発表、将来の夢と希望の話し合い、心と心がふれあうキャンドルサービスなど、仲間たちが緑の大自然の中で、これからの農業をになっていく自信と連帯感がつかかわれる大会であった。

## ◇大会第1日



県中央農業高校で、大会長、来賓の激励の言葉を受けたあと、7月3日から国際農村青年交換計画によって来県しているアメリカ4Hクラブ員、ジャニー・E・ビバーク嬢、ドナ・L・ハーコビッツ嬢の2人が紹介された。2人はじょうずな日本語で「ドウゾ、ヨロシク、オネガイシマス」とあいさつし、会場割れんばかりの激励と歓迎の拍手をうけ、みんなと一緒に大会2日間の行動に入った。

大会の主要行事である技術競技は、作物、園芸、畜産、生活の各部門ごとに診断、判定、審査、鑑定にわたって競技が展開された。

問題は80問設定され、その2～3例をみると、まず診断では「この稲の生育時期はどのような時期ですか」これは、作物生理の基本的知識もさることながら、正しい観察、注意力がものをいいます。つぎに判定は「県内のナス出荷基準のL級(75g)はどれですか」これは、数量的な判断を下す競技で、物事を数量化してつかむ習慣をつけるものです。さらに審査では「この食品100g中カロチン含量の最も多い食品はどれですか」すなわち、作物、家畜、消費物資の良し悪しを見分けることは、これからの農業者にとって欠くことのできない能力といえます。最後に鑑定では、「この農薬は殺菌剤、殺虫剤、殺草剤のどれですか」これは品物の名称と正確な使用方法を知っているかどうかを競います。

この競技には知事賞、大会長賞などが用意され日頃の成果を客観的にわかることのできる有意義な催しであった。



全能を傾むけて競いあったあとのこころよい疲労感を伴って有峰の交歓パーティーへ

## ◇大会第2日

分科会に分かれて話し合いが始まる。課題は「農村における若者のあり方」。仕事と余暇、将来の家庭生活はどうあるべきか、企業的農業をどのように進めるか、熱気に満ちた話し合いがなされた。「これからは、企業化による規模の拡大をはかっていくべきだ」・「魅力ある経営を自らが実施し、その結果からよき友を求めよう」・「女性には女性の道がある。理想の家庭を築くため」・「働くだけが能じゃない、見たり聞いたり魅力ある農業を」。意欲ある若者たち、なんと頼もしい若者たち、外の雨は冷たいが、部屋全体が温かく明るい。

最後の行事、演説発表はプロジェクト活動を通じて、自らの創意工夫によって開発しあるいは、習熟した農業や生活の技術、経営内容の発表である。「母の改良家庭着」。「私の考案した牛糞焼却処理施設」など、日頃のプロジェクトが発表された。質疑の応答は活発にかわされ、予定時間が遅れがち、発表が終わった後、あらためて全体討議、明日への意欲がありありと見える。このように活発な演説発表が男女クラブ員で行なわれた。

## 〜技術競技を終わって、いよいよ 憧れのハイランド有峰へ〜

梅雨明けも間近とあって、雨模様ではあるが、時折り雲の切れ間から見える有峰の山々は、若い仲間達を温かく迎えてくれる。山の緑と湖水に映える壮大なダム白銀色が、実に美しい曲線を描いている。

湖畔の宿でのキャンドルサービス。火は、創造と破壊のエネルギー源である。1つの小さな火が、みんなの手と心にともされ、それが、やがて全体に大きなひろがりとなって燃え上る。技術交換大会における火の儀式、キャンドルサービス、あるいはキャンプファイヤーは、欠かせない大切な行事である。闇と光、静と動の激しい対決、交さくの中でお互いの心をゆり動かし、意欲をもち上げる。

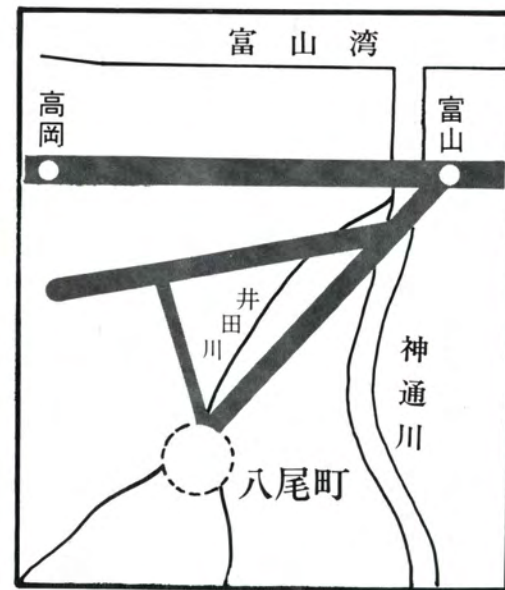
## ◇明日への道

2日間にわたる熱気と感激の大会を終えて技術の交換、互を理解し、仲間ができたよろこびが、あすへの意欲をかきたてる。胸を張って歌う県民の歌が、湖水をわたって山々にこだまし、「若い力を世界にむけて、われらで創ろう、日本の農業」と意気は高く、無限に広がっていった……………。



# 表情のあるみち

古来から越中と飛騨との交流の要所として栄え、蚕、生糸などの取引が盛んであった八尾町。井田川の流れに沿って細長く続く町並みの中に今も面影が残る。  
坂道をあえぎながら歩くと生活の匂いがより強く感じられる。道端での小休止、遊び場であり、人びとの憩いの場でもあった道は、ただ人が、くるまが通るだけのものではあつていいのだろうか。

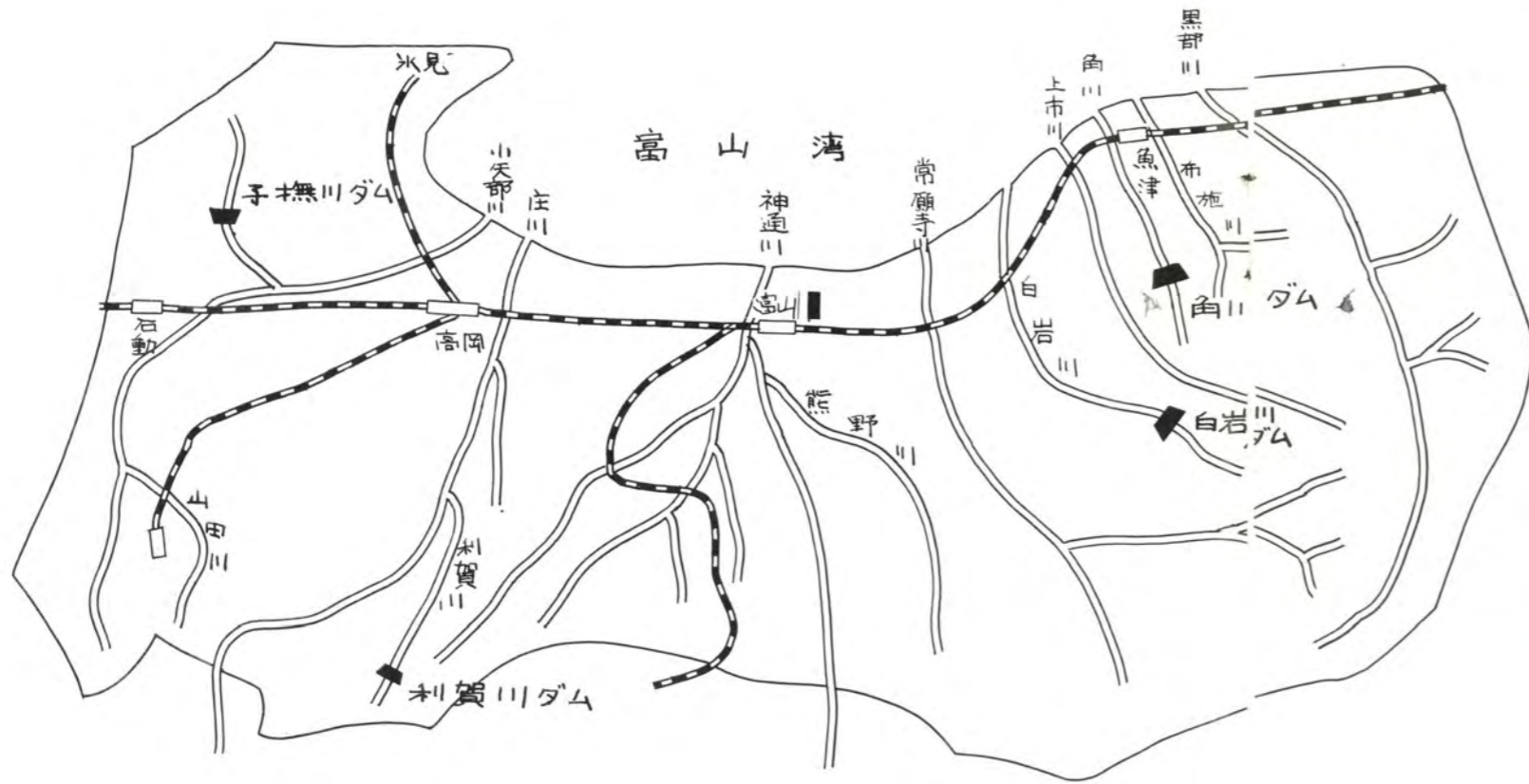


## ◎八尾地方の文学散歩

長谷川伸「一本刀土俵入り」  
前田普羅「早春の八尾」 雑誌紀行文  
吉井 勇「寒行」「流離抄」…歌集

## ◎あ し

国鉄高山線-越中八尾 バス-下新町下車



# 水の総合利用と 開発

水の使用量は、文化を計る物差しといわれていますが、産業の発展と生活水準の向上によって、本県の水需要量は、飛躍的に増加を続けています。

本県には、庄川、小矢部川、常願寺川、神通川、黒部川の五大河川をはじめ、大小数多くの河川があり、また、降雨量も多く、豊富な水資源に恵まれています。また冬季の山岳地帯の積雪は、天然の貯水池としての役割を果たしており、水の使用量が増加しつづけたとしても、当分、不足するようなことは考えられません。ただし、これは、利用されないまま海へそそいでいる河川水をコントロールして、利用度を高めることが前提となります。

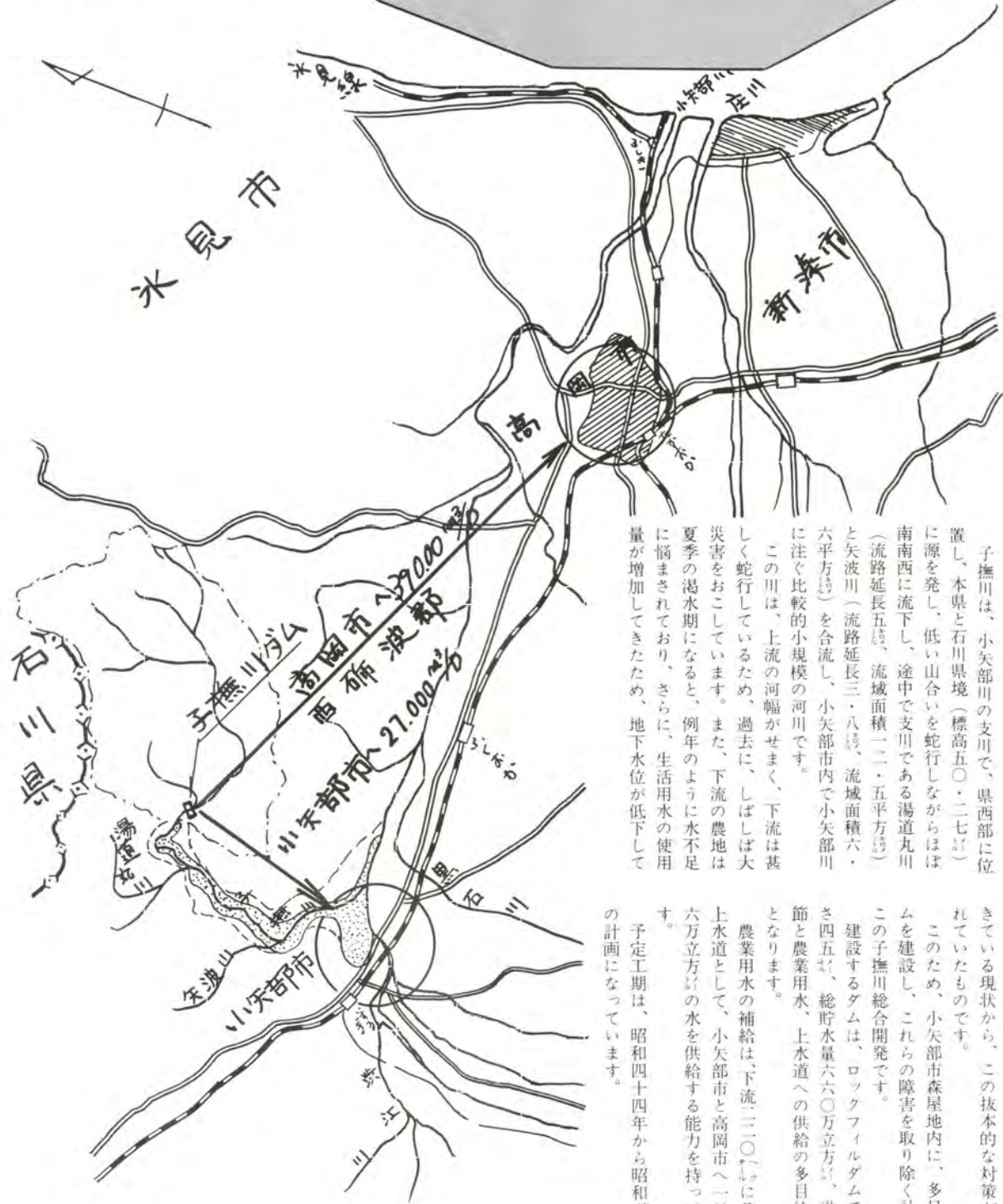
もちろん、水の利用計画は、治山治水対策や、利用後の水の処理、漁業の振興、自然景観の保持等の施策と一体的に行なわなければならないものです。

県は、水資源を開発するため、広域的水利用の推進、水資源調査及び多目的ダムの建設を進めています。

現在、建設もしくは調査中のおもな河川開発の状況は次のとおりです。



# 子撫川総合開発



子撫川は、小矢部川の支川で、県西部に位置し、本県と石川県境（標高五〇・二七）に源を発し、低い山合いを蛇行しながらほぼ南南西に流下し、途中で支川である湯道丸川（流路延長五、流域面積二・五平方）と矢波川（流路延長三・八、流域面積六・六平方）を合流し、小矢部市内で小矢部川に注ぐ比較的小規模の河川です。

この川は、上流の河幅がせまく、下流は甚しく蛇行しているため、過去に、しばしば大災害をおこしています。また、下流の農地は夏季の渇水期になると、例年のように水不足に悩まされており、さらに、生活用水の使用量が増加してきたため、地下水位が低下して

きている現状から、この抜本的な対策が望まれているものです。

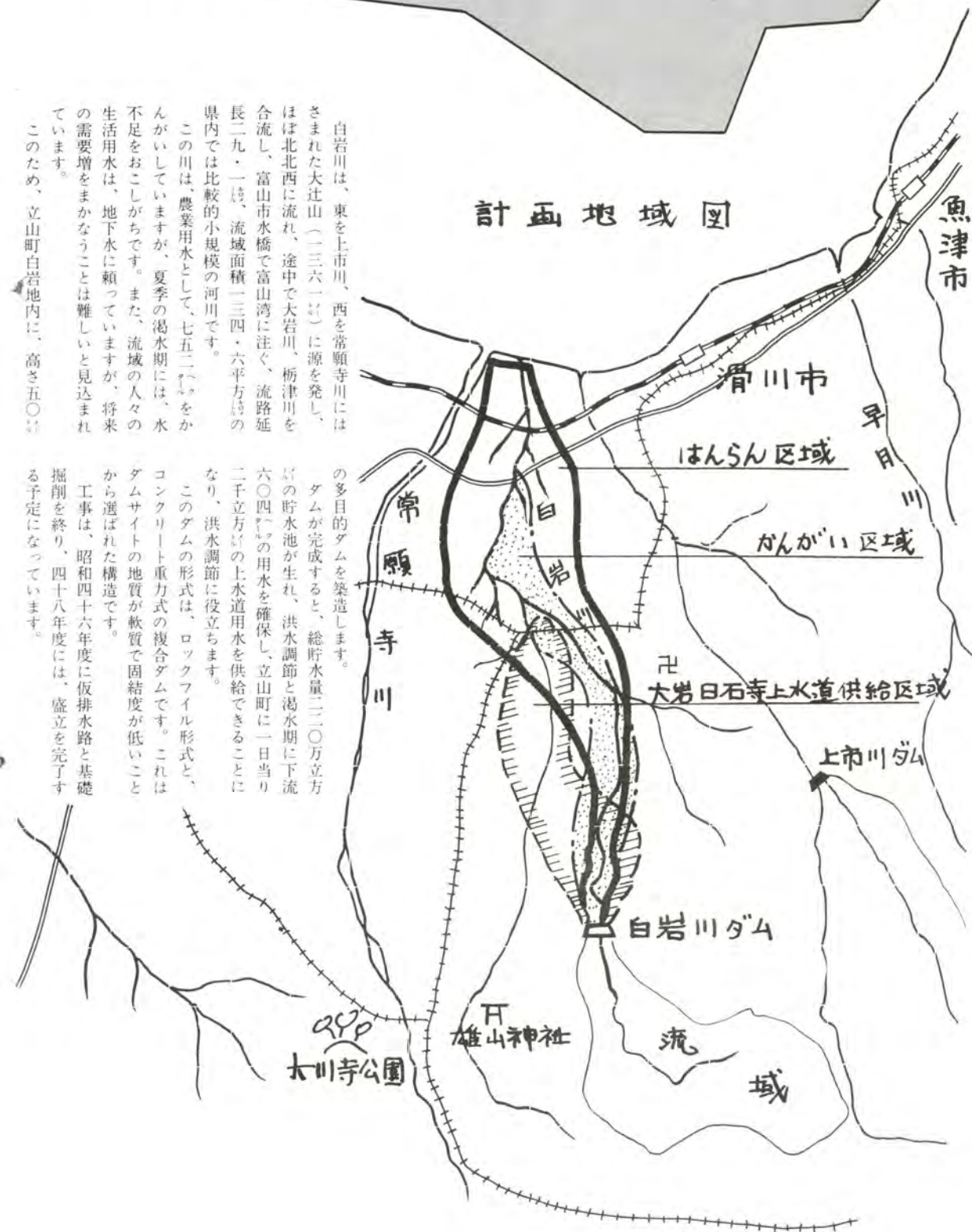
このため、小矢部市森屋地内に、多目的ダムを建設し、これらの障害を取り除く計画が、この子撫川総合開発です。

建設するダムは、ロックフィルダムで、高さ四五、総貯水量六〇万立方、洪水調節と農業用水、上水道への供給の多目的ダムとなります。

農業用水の補給は、下流二〇に及ぼし上水道として、小矢部市と高岡市へ一日当り六万立方の水を供給する能力を持っています。

予定工期は、昭和四十四年から昭和五十年の計画になっています。

# 白岩川総合開発



計画地域図

白岩川は、東を上市川、西を常願寺川にはさまれた大辻山（一三六一）に源を発し、ほぼ北北西に流れ、途中で大岩川、栃津川を合流し、富山市水橋で富山湾に注ぐ、流路延長二九・一、流域面積一三四・六平方の県内では比較的小規模の河川です。

この川は、農業用水として、七五二をかんがいでいますが、夏季の渇水期には、水不足をおこしがちです。また、流域の人々の生活用水は、地下水に頼っていますが、将来の需要増をまかなうことは難しいと見込まれています。

このため、立山町白岩地内に、高さ五〇


の多目的ダムを築造します。

ダムが完成すると、総貯水量二〇万立方の貯水池が生れ、洪水調節と渇水期に下流六〇四の用水を確保し、立山町に一日当り二万立方の上水道用水を供給できることになり、洪水調節に役立ちます。

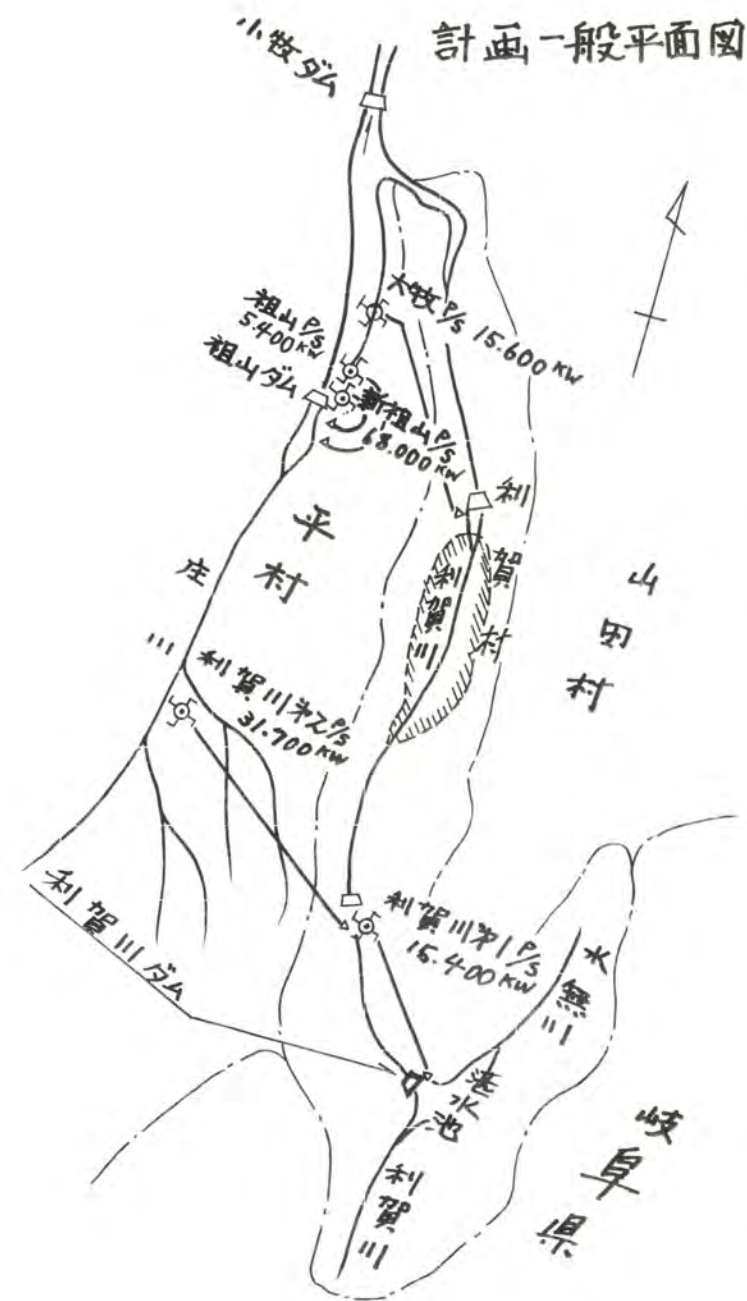
このダムの形式は、ロックフィル形式と、コンクリート重力式の複合ダムです。これはダムサイトの地質が軟弱で固結度が低いことから選ばれた構造です。

工事は、昭和四十六年度に仮排水路と基礎掘削を終り、四十八年度には、盛立を完了する予定になっています。

# 利賀川総合開発

凡例  
 洪水防除地域

計画一般平面図



利賀川は、庄川の支川で、県の南西部にあり、水源は、岐阜県との県境水無山（一、五〇五）峰、人形山（一、七二四）峰で、利賀盆地を貫流して利賀村柚野原地先で庄川小牧貯水池に注ぐ、流路延長三六、流域面積一〇〇平方キロの中規模河川（一級河川）です。

この川は、これまで、たびたび洪水をおこし、川沿いにある田畑、人家、公共施設等に大きな被害を与えてきました。加えて、土砂の流出が甚しく、河床が上昇して、被害を累増させる恐れがあるため、治山工事や砂防堰

堤の築造がされてきたもので、その根本的な対策が必要とされておりました。

この計画は、こうした観点から、利賀村水無地先に多目的ダムを建設し、治水と、その豊富な水量と落差を利用して発電もあわせて行なおうとするものです。

ダムは、重力式コンクリートダムで、高さ三九、総貯水量二七〇万立方メートルの規模となります。

発電は、新たに利賀村第一、第二発電所を建設し、最大出力四七、の発電を行なう計画です。

以上がおもな計画ですが、県は、県内を五つの水域に分け、それぞれの地区内の目標需要量の大部分を河川表流水に依存する計画で河川総合開発事業を順次実施していくことにしています。また、上水道の合併、広域化を促進、水源の共同開発あるいは上水道用水供給事業を促進します。さらに、工業用水については、反復使用などの有効利用および、排水の処理方法などについて企業を指導し、かんがい水については、土地改良を進めて、減水深の減少をはかるなど、水の総合利用に取り組んでいくこととしております。




計画一般平面図



角川は、県東部の片貝川及び早月川分水嶺（一、二三八）を源として、ほぼ北西に流れ、途中で、富川を合流して蛇行しつつ魚津市街地を貫流して富山湾に注ぐ、比較的小規模の河川です。流路延長は、一五・五、流域面積四二・八平方キロ、しばしば出水をおこし市街地に被害を与えています。最近の洪水では、昭和二十七年七月、三十九年七月、四十四年八月の出水による被害は甚大でした。

一方、この川より取水している水田は、毎年のように夏季になると水不足で悩んでいます。この状況を打開するため、魚津市鹿熊地先に治水ダムを建設するもので、ロックフィルダムとし、高さ六〇、総貯水量一五〇万立方メートルのダムを築き、洪水調節と、下流の耕地一八、二の水不足地帯に補給する計画となっています。

工期は、昭和四十四年から昭和五十年までの予定です。

凡例  
 集水区域  
 被害防除区域  
 かんがい区域

# 角川治水ダム計画

# 徳知のくらし

店頭に並べられているたくさんの洗剤は、「石けん」と「合成洗剤」の二種類に分けられます。

石けんは固型石けんなどとして、長い年月私たちが使い慣れてきたもので、油脂にカゼーソルターを配合して作られるものです。また、合成洗剤はマツコウジラの油やヤシ油からとれるアルコール、または石油を合成して作られる高級アルコール系合成洗剤と、石油を原料とする石油系合成洗剤に分けられます。

それぞれの洗剤に特徴があるわけですが、洗たくものを美しく仕上げられるにはまず、衣類の性質と洗い方のポイントを知ることが大切です。最近では混紡の衣類が多くなり、繊維に適した洗剤を使ってください。

## 洗たくを始める前に

●品質表示を確かめて、繊維に適した洗剤を選びましょう。  
たとえば、ウールとポリエステル混紡のものや、洗たく時は、ウールのようなデリケートなものに適した洗剤を選びましょう。  
●洗たくものを分類しましょう。

- ①色ものを分ける
- ②よごれの種類で分ける  
あまり汚れていないものと、汚れのひどいものをいっしょに洗わないようにしましょう。
- ③素材で分ける

## 水と洗剤、洗たくものはバランスをとって

●最近の合成洗剤は非常に水に溶けやすくなっていますから、水で洗ってもかまいません。しかし、お湯(30〜40度)を使った方が洗剤の溶けがもっとはやくなり、洗剤が衣類に浸透しやすくなり、内部の汚れをすみやかに乳分化散します。  
また、洗剤に添加されている蛍光染料は温度が高い方が効果がありますし、もむ、すすぐなどの労力が少なくて済むため、布地の傷みが少なくなります。

## ●洗剤

●合成洗剤には、洗剤が一番効率よく働く適量というものがあります。少なすぎても汚れがよく落ちませんが、適量以上の洗剤を入れてもほとんど効果がなく、洗剤をムダ使いしていることになり、洗剤の箱に表示してありますから、よく読んで使ってください。

●洗たくもの  
家庭用洗たく機には、約30リットルの水が入ります(35リットルくらい入るものもあります)から確かめてください。この水の量に対して洗剤は60グラム(一合カップに約八分目)が適量です。しかし、この適量はメーカーによって多少違いがあります。洗剤の箱に表示してありますから、よく読んで使ってください。

●あまり入れすぎないこと。洗たくものが多すぎると汚れの落ちが悪くなります。量を見分けるには、洗たくものを洗たく機に一枚ずつ入れてゆき、モーターの音が変ったらその時入れた前の洗たくものまでで限度だということです。

## さあ洗たくです

●汚れのひどいものは先に水洗いしましょう。  
●洗剤はよく溶いてから洗たくものを入れましょう。  
●洗たくものを入れてから、その上にふりかけたりすると、洗剤がかたまってしまうので、一度落ちた汚れがまた衣類についてしまします。

●特に化学繊維は再び汚れが付きやすいので、新しい洗たく液で手ばやく洗いましょう。  
●ポリエステル、ポリプロピレンは化学繊維の中でも再汚染されやすい。  
●すすぎは合成洗剤で二〜三回、石けんでは四回くらいしましょう。

●合成繊維の脱水は、遠心脱水機で30秒以内が適当です。  
●洗たく時間5〜7分が適当です。  
●洗剤には汚れを落とす働きと、落ちた汚れが再び繊維につかないようにする働きとがあります。ところが、あまり長く洗っていると、一度落ちた汚れがまた衣類についてしまします。

## 泡と洗浄力の関係

●これまでの洗剤の代表だった石けんが、洗淨力、泡立ちともによかったので、泡の多くでるものが汚れが落ちやすいように思われがちでした。しかし、実際はほとんど関係なく泡そのものに洗淨力はありません。また、ソフト型合成洗剤、ハード型合成洗

## 洗剤の品質表示

| 品名     | 合成洗剤                                     |
|--------|--|
| 成分     | 陰イオン系・蛍光剤配合                              |
| 種類     | アルカリ性                                    |
| 用途     | 衣料品用                                     |
| 正味量    | 500グラム                                   |
| 標準使用量  | 水1ℓに洗剤1.5グラム                             |
| 使用上の注意 | 野菜・果物洗いには適しません<br>手あての注意<br>誤って飲んだ場合の処置等 |
| メーカー名  | 〇〇〇株式会社                                  |
| 住      | 富山県富山市新総曲輪4-18                           |

●洗剤という言葉をよく聞かれると思います。ハード型とは主原料としてABS(アクリルベニゼンスルホン酸ソーダー)を使用している洗剤のことをいい、ソフト型とはLAS(リニアアルキルベンゼンスルホン酸ソーダー)を主原料としている洗剤のことをいいます。ABSは、バクテリアなどの微生物によって分解されにくく、下水処理場、浄水場、河川で発泡し消えにくいという欠点があります。一方LASは、微生物によって分解されやすく、現在の洗剤はLASが原料として使われています。

●よく洗剤の箱にソフト型とか、完全ソフトと書いてあるのは、洗たく後手がなめらかになるとか、洗たくものの仕上がりがソフトであるという意味ではなく、微生物による分解性の難易をハード、ソフトで表わしているのです。

# 越中 伝説

## 千歳御殿

嘉永二年(一八四〇年)、富山城の東出丸に豪華な千歳御殿が竣工した。東出丸といえは今の桜木町あたり、千歳御殿といは、名君といわれた十代前田利保公の隠居所である。

庭内には四季折り折りの樹木を植え、築山をきざき、神通の水を引いて泉水とし、舟遊びまでできるという豪華な御殿であった。

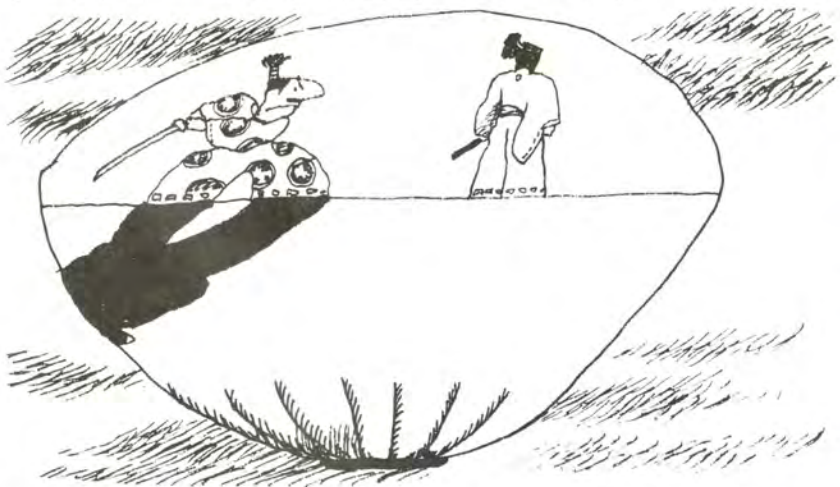
利保公の夫人は、芸州浅野安芸守齊賢公の第三女で久美姫といわれた。富山城奥入れの際には、浅野家重代の家宝であった韓国大貝を御道具中に加えられたほど、父君齊賢公に自慢の姫であった。

千歳御殿の落成は春は弥生、あらかじめ植えてこまれた桜花は満開して、雲か霞と見まがうばかり、その繁乱たる下の宴こそ、まことに錦絵そのままであった。

ここに千代という奥女中、心やさしく城に上気したおほのり染めて、なんともいえない風情を身一ぱいにただよわせて、築山のかげに涼風を求めようす、そこへ同じ思いで、薫風うるわしく、水もしたたる姿もあややかに一人の若衆があらわれた。

花見の歓楽を背に、ほの暗い夜桜、そして美男美女……まあ、舞台はそろったわけでございます。ましてや、本人たちが熱い血潮のたぎるままに奈落の恋におちたとしても、むしろ人の道ではありませんまいか。

それから間もなく、千代が夜ごと若衆を引き入れて、あいびきにうつつをぬかしているとのうわさが、奥女中のあいだにひろまり、「不義者を成敗せよ」との声が高まった。中老役滝尾というは、文武の道に名のある婦人であったが、千代の挙動に、うわさとは別の不審をいただき、手もとに呼んでたずねると、



「花見の宴で知り合った若衆が、時々忍ん

でくることは事実でございます。しかし、たがいに正座して物がたるのみで、不義普通など、はしたないまねはしたことはございませぬ。ただ、かの人は朝鮮の風土人情だけを、手にとるようにこまごまと語るのが不思議でございます」と答えた。

●滝尾はうなずいて、案のじよう千代の美貌に魔性のものが迷ったなど賢察し、一夜千代の部屋の床下に忍んだ。滝尾の思った通り若衆が現われ、音もなく千代の部屋に入った。夜明けまで待ち通した滝尾が若衆のあとをつけた。折しも浅月淡く投じて、自分の影を地上に映しているが、若衆には影がなかった。さては妖怪ごさんなれと、気丈にも懐剣をぬきはなち、ダツと若衆の背をさし貫いた。そのとたん、若衆は煙とともに消えさった。

●滝尾は手こたえあつたと心中ひそかに確信し、明るくなるのをまって調べてみると、庭かざりの浅野家大貝の頭に懐剣がグザツとばかり突き立っていた。まちがいなく、あの若衆は大貝が化けたものであった。

さて、この大貝は浅野公の祖先、豊家十八将の一人浅野幸長が朝鮮出兵の折、慶尚道西生浦の城を攻略して城内にたむろした。その夜から城北の森林に、無気味な怪光がチヨロチヨロと燃えては消えた。部下の将兵は朝鮮兵の死霊のたたりだと恐れて、士気沈滞して進軍の気運を失ったことがあった。

●幸長公はこれを嘆いて、ある夜單身愛馬を駆って森林深く、怪火に近づいてよく見ると、二個の大貝が並んでいる。幸長公は世にも珍らしいものと日本に持ち帰り、太閤に献上した。太閤は一箇を愛妾淀君の手水鉢にまわし、一箇を改めて幸長公に返下した。以来浅野家重代の家宝として秘蔵され来たものであったという。

(精神開発研究委員 成瀬 昌示)

# 県政のうごき

6月11日～7月10日



○埋没林館 魚津港の近くにあり埋没林は原始時代に土地の沈下により地下に埋められてしまった当時の大森林の名残り港から東西三〇〇以北一六〇以南の地域が天然記念物地域として指定されている。埋没林保存館では原生沈下のままの姿をみる事ができる。

○水族館 大町にあり館内大、中、小六〇余りの水槽には、日本の水産動物のほか熱帯魚、淡水魚などの習性をまのあたりにみることが出来る。二階は二百余種に及ぶ魚介類の標本の展示場となっている。一月から三月まで休館。それ以外は毎日開館している。料金大人八〇円、中学生五〇円、小人四〇円。

○松倉城跡 バス北山線湯上下車徒歩五〇分 鹿熊山の天険要害の地にある椎名泰種の居城。天文のころ謙信が数度攻撃したが落ちず天正四年(一五七六)ついに落城し、河田豊前に与えられた。城跡に数本の桜樹が植えられ、眺めもよい。途中にある北山鉦泉、坪野鉦泉は婦人病などに効く弱食塩泉として近郊から湯治客が集まる。



医学部誘致へスタート



六月県議会開会



富山高校新校舎

六月一四日 コシヒカリ国の銘柄米に食糧庁は富山産のうるち米「コシヒカリ」を国の銘柄米に指定した。

六月一五日 砺波市に下水道建設 砺波市でひらかれた「知事と語る会」で、中田知事は、生活排水と一部工業排水を処理するため、庄川、小矢部川広域下水道を一、〇〇〇億円で四十八年度から建設する計画をあきらかにした。

六月一六日 サークット族の取り締りを 県議会教育警務委員会で山口県警本部長はサーキット族の取り締まりについて「社会の秩序に対する挑戦である」と強力な取り締まりの態度を明らかにした。

★トビックス★★★☆☆★

六月二〇日 青少年旅行村 上平村の運輸省指定青少年旅行村の開村式が行なわれた。この旅行村は青少年がキャンプなどの野外活動を通じ、健全な育成をはかるうとするもので、合掌民宿、青少年宿泊施設を建設中。

六月二二日 医学部誘致へスタート 富山大学医学部誘致期成同盟会が結成され

会長に中田知事を選んで発足した。

六月二四日 六月県議会開会 六月定例県議会が招集された。会期は三日までの七日間と決め、中田知事は三二案件の提案理由の説明を行なった。この中で交通暴力の取締りの方針のほか自然環境保全条例の内容などを述べ、北陸新幹線の早期着工と富大医学部誘致に対する努力を明らかにした。

六月二九日 北陸新幹線など調査を指示 丹羽運輸相は、鉄道建設審議会が先に基本計画の組み入れを答申した北陸新幹線など四路線について基本計画を決定、国鉄、鉄建公団に対して調査を指示した。

六月三〇日 六月定例県議会終わる

六月定例富山県議会は三十日、県自然環境保全条例、土採取規制条例、県公安委員任命の同意など上程されていた二十一議案、報告九案件を原案どおり可決、政府に対して米価と米穀政策の確立を要請する決議を行なって閉会した。

七月一日 富山高校新校舎 県立富山高校は、焼けてから一年一カ月ぶ

りて新校舎へ移転した。(一日)

県、下旬から工業技術調査へ 富山県は県内企業の工業技術の実態把握と県の工業施策への要望をまとめるため、従業員三十人以上の企業や六百社を対象に初めて総合的な「工業技術実態調査」を行なう。調査は七月下旬にも始め九月にはまとまるが結果はこんごの民間企業の技術水準向上に役立てるとともに県工業試験場など県の技術政策試験研究機関の改善や技術人材教育のあり方の研究資料にする。

七月二日 トビックス 暴走騒ぎ収拾の段階 四月中旬以来の深夜の暴走騒ぎは、市民運動を中心の世論の高まりと県警の厳罰主義が功を奏し二カ月ぶりで平穏の夜を迎えたが、前夜からの富山・高岡両市内でスピード違反を中心の取り締まりで三百五十人を検挙、八人を逮捕した。(二日)

七月三日 医学部誘致で教官確保へ 中田知事は記者会見で、富山大学医学部誘致を進めるため、近く金沢大学、新潟大学を訪れ、教官確保の依頼することを明らかにした。

# 魚津

● 谷間に光を



ほくにも  
できるよ